

第8回 フリートークの会

平成18年11月14日

出席者9名

院長 Aさん、去年の暮れにお腹に水がたまって大変でしたね。卵巣がんで、がん性の腹膜炎ですね。手術かって言ってたんだけど、心臓発作が結構出てましてとても危険な状況なので、抗がん剤だけでということですね。3回くらいやったら水がたまらなくなっただけですよ。それで追加して最初は別な病院に入院してたんですが、こちらに来て毎週抗がん剤治療をやって、3回やって1週休んで、全部で6回やったんでしたかね。一旦終わったんだけど3ヶ月してまた腫瘍マーカーが上がってきたのでね、それで3回7コース目、多分下がっていると思います。心臓発作もずいぶん出なくなったよね。心臓病の人を抗がん剤治療やりたがらないんですよ。でもやらなければ治らなかつたし、やれば多少でもよくなるんだから心臓発作多少あってもやろうと。いつも言いますが、抗がん剤の副作用が怖いからやらないっていうと治らないし、良くはならないよね。ある程度の副作用っていうのはつき物ですので、Aさんは幸いここまで来て…。

Aさん たくさんお水取ってもらって、それからぜんぜんたまらない、ちょっと太っちゃったけど。おかげさまで、ひざも痛くて歩けなかつたのがスイスイ歩けるようになるし、腰の痛いのも治っちゃうよなんて先生おっしゃったんですね。あ、ホントだと思ってね。

院長 関節痛が来るんだよね。もうじき1年ですね。まだまだ大丈夫、長生きしてもらわないとね。

Tさん ホントにちっちゃなことから先生に何でも聞くもんで、悪いと思いながら、でも先生がやさしく教えてくれるもんだから気持ちがいつも穏やかでいられます。やっぱり気になっていることはどんどん先生に伺った方がいいですよ、一人で考えてないで。

院長 Bさんはお近くからですね。やっぱり乳がんですか？

Bさん はい、手術を受けたのは2年前の夏にA医大でなんですけど、この春B医大に転院したんですね。通うのに遠いってということと、なかなか先生がこちらの質問に答えてくださらなくて「それはわかりません」っていうばかりで、それで不安で不安で。何でもお話できる先生をずっと求めてきて、S先生のご講演を今年の春に聞いてその先生に2度診ていただいて、でも今もういらっしゃらなくなってしまったのでこれから先どうしようかって思ってるんですけど…腫瘍が5.3cmくらいあって全摘で。A医大ではセンチナルリンパ節生検はやってないんですね。結果的には転移はなかったんですがリンパ節の郭清はしてるんです。そういうことも手術前に詳しく説明されてなくて、私もとにかく早く手術って、今から思うとそんなに焦らずもっと調べていい先生を自分で探せばよかったんですけど、ホントにそんな余裕なくて。抗がん剤も、今ちょっと副作用がなかったなんてお話を聞いたんですけど、通院で抗がん剤受けた時ものすごく苦しんだんですね。腹膜の癒着もあったものすごく苦しくて。その抗がん剤止めるときから先生に質問しても「わかりません」ばかりで答えが得られないのでいろんな不安が。抗がん剤の途中でセカンドオピニオンで他の病院をとも考えたんですけど、恩義を感じて離れる気持ちになれなくて抗がん剤まではそちらに…で、そのあとB医大に。

Bさん 私は来月で1年になるんですけども、温存療法で乳がん2cmで転移はなかったんですけども一応リンパ節は取ったんですけども、検査のときに甲状腺にも異常があることがわかって、乳がんの方が全部一応一段落したら甲状腺の専門病院にということで今そちらに行ってるんですが、橋本病という診断で、12月の暮れに一連のがんの検診を受けて甲状腺の方は3ヶ月ごとに行ってるんですが、ちょっと機能低下したので1日1回抗がん剤を飲み始めたんですね。心配はないからって言われてはいるんですが、一応橋本病と2つ抱えちゃいまして。幸い抗がん剤は副作用が一切なくて、無事に終わったんですけども。抗がん剤はACっていうんですか？がんと橋本病とどちらも3ヶ月に1度で1ヶ月交替で通ってるっていう感じなんですね。来月が丁度1年ですから大丈夫かなあと試してみたりちょっと心配しながらやってるんです。ちょっと遠くて家からだと病院まで1時間半くらい。たまたまそこで検診を受けたもんですから。前にPET総合検診を受けませんかという募集を見たんですね。主人が1年前に受けて、大丈夫だったからお母さん60歳前に受けなさいということで受けたらがんが見つかって…でも何か、再発っていうのが常につきまってるんですよ。でもこういう風にお話していると皆さんとてもお元気で浚刺としているからすごい勇気付けられるし、また今日はこういう会に連れてきていただいて、菊池先生のお話も伺えて…またよろしくお祈りします。

Cさん ご無沙汰してます。今年7月のフリートークの会に伺ってあれからすぐ入院になって…この左の鎖骨にできた腫瘍なんですけど、検査の結果悪性繊維肉腫って病名で、乳がんからでなくて原発だっことで左腕マヒしちゃって障害者3級、まあ命と引き換えに左手不自由になっちゃったなあ。でも命が助かっただけでも思ってるんですけど。でもまだ傷跡が黒く残っているんでこれがきれいになるのは2~3年くらいかかるとは思ってるんですけど。7月に菊池先生にフリートーク会のあとでちょっと診ていただいたときずいぶん大きいね〜ってお話でしたけど、手術の時に計ってみたら6cmあって腫瘍が木の根っこみたいに、それが身体の栄養を吸い取って大きくなってきたんじゃないかって、それが肩とひじの神経に…手首も動かなくなるって言われたんですけど手首はどうか動くんですけど今度は浮腫が来ちゃって、動かすのも肩がダメだから右手でもってよっこらしょって、ご飯もお行儀わるいんですけど左手動かないからお茶碗おいたまま口を近づけて食べてるんですけど。手術してしばらく放射線やるって言われて、乳がんでも放射線かけたんでね、どの程度かけたらいいのか、乳がんのときの資料を取り寄せようとしたんですが間の悪いことに夏休みに入っちゃってなかなかその資料を取り寄せられなくて、それで放射線が9月からになっちゃって10月半ばまで。Dさんから菊池先生が心配してるよって聞いてたんですけどなかなか来られなくて、やっと今日久しぶりに来られて…

院長 でもそこまで回復して、ね。下手すると声つぶれちゃうかなって…

Cさん ええ、あのやっぱりここ（反回神経）にちょっと触ってるんで、時々声が引っくり返っちゃうんですけど。手術する前の説明がすごかったんですね。10時間の手術で鼻から管通して経管食で喉にも穴あけるから、ホワイトボードで筆談でやりますからってもう最悪の状態。そんなに悪いのかって、ものすごくショックで辛くて辛くてどうしようどうしようって。でも手術しかないってことで、でも左手が動かなくなるってことがね、ぜんぜん想像できないじゃないですか。よろしくお祈りしますって言って手術台上がって、Cさ〜ん、終わりましたよ〜左手動か

してみたって言われてぜんぜん動かないんですよ。あ、なるほどねって先生が…あ、なるほどなんて簡単に言わないでって思いましたけどね。ひじ曲げてって言われても曲がらないし、でも手首だけはどうか…でもこれも放射線をやるからあと3～4年すると動かなくなる可能性が高いって言われたんですね…。でも脚が元気なんで歩けるうちはこちらにも通って皆さんとお話したいし、家に引きこもってばかりいないで外に出て行きたいなと思って。ちょっと長く歩くときは三角巾でつるしたりしてるんですけど。一番困るのは顔を洗う時が、右手しか使えないから一番厄介なんです。あとは料理も少しずつやってるんですけど、まあ工夫すればどうかやれるかなあと思っているんですけど。出来ないところはしょうがないと思って、不便さは出てきちゃったんですけど、Dさんから「命が助かっただけいいじゃない」って。

院長 いやあ～助かっただけでなくて元気だからよかったですよ。顔色もいいし。

Cさん 7月下旬に手術したから8,9と二ヶ月、10月の初めに退院して放射線が終わったので、だからなかなか菊池先生のところ来たくても来られなくて。先生、だいぶ大きかったでしょ？瘤が。

院長 大きかった。これは大変だなと思いました。肉腫ってこんなところに来るのはそんなに多くないですよ。

Cさん あ、やっぱりね。そうですね、少ないですよ。主治医の先生からも言われました。こういうところに来るのは珍しいって。

Dさん でもあんなに急に大きくなっちゃうもんなんですか？ だってなかったもんね。

Cさん 6月のとき小さかったもんね。何だろうねって言ってたんだもんね。

院長 放射線かけたって言ってましたね、前のときにね。その影響も多少あるのかもしれないね。

Cさん 主治医の先生にも言われたんです、乳がん治療の放射線の影響もあるかもしれないって。乳がんで放射線かけたほうがいいって言われれば、分かんないから私たち医者でも何でもないので、じゃやりましたってなるでしょう。それが10何年たって影響があるかもしれないっていわれる、じゃやらない方がよかったのかしらって思いますよね。分かんないんですよ～。

院長 ただ、やっぱりやらなければよかったかっていうのもまたわからない。やらなければ…

Cさん そうそうそう、やらなければ再発するとかどっかに転移するとかなくてたかもしれない。

院長 そうですね、だから両刃の剣であることは確かなんですよ。でもやらなきゃおかしくなるし、やればやったで副作用が出るし。抗がん剤もそうなんです。だから副作用があるからやらないほうがいいとは言えない。それは兼ね合いなんです。この病気は慢性病ですから負けちゃダメですよ。負けない気持ちでモチベーション高く持って

いくつというのはすごく大事だと思うし、何でも悪く考えて副作用があるからいやだとかこれがあるからやっても無駄だとかマイナスに考えると、確かに辛いことはわかるんですけど、やってみてよくなる可能性があることも結構ありますし、確かにやってみないとわからないこともあるんですが、やっぱり前向きに明るく考えた方がいいですよ。Cさん、生還してきたんだから（笑い）。普通腫瘍があそこまで大きくなって、ねえ、ちょっとがっかりしちゃうよね。いやだって言って逃げちゃう人もいますよね。そんな手術いやだって言って。

院長 Aさんは、どこも切ってないですものね。どこも切ってなくて元気だもんね。

Aさん ホントにそれは何よりありがたいと思って。

院長 すごくおなかだったのがほとんどなくなっちゃいましたよね。お嫁さんがよく面倒見てね～。

Eさん お嫁さんなんだ、娘さんかと思った。

副院長 お元気になりましたよね。点滴やっているとどうですか？

Aさん 点滴やっていると今はなんともないですよ。いい気持ちでね。うとうとしちゃってね、終わりましたよって言われて起きて。

お嫁さん 前の病院のときは違ったんですよ。入院しなくちゃならないくらい気持ち悪くなっちゃって帰れないんですよ。必ず1泊して帰ってくる状態。このクリニックに来てから元気で必ず帰り何か食べて帰ろうって感じですね。ここはいつも話できる場所に家族がいますからね。前の病院だと個室に入れられてずーっと本人だけ、でもここだと一緒にいられるから、それもいいのかもかもしれませんね。ぜんぜん落ち込まないし、帰ってから動けるって言いますもの。

副院長 それは大きいかもしれないですね、ここの治療方法の特長ですね。

お嫁さん 患者さんからいろんな情報を教えていただけます。こういう症状が出てくるよ、こうなって次はこうなってくるよ～とかね。

Fさん 私も抗がん剤治療で自分がかかっていた病院では病室に寝かされてね。でもこちらに初めて伺ったときに、リラックスして座れるイスがあって。そして隣の人とも話ができるしすごくいいなあと思っちゃいました。患者さん同士の話っていうのは大事ですよ。励みにもなるし情報にもなるし。経験者の通ってきた道話をしてくれるからやっぱり正直な話が聞けますからね。

Dさん またがんになって掛かりたいとは思わないけど、ここの病院ずっとやって欲しい。（笑い）

※フリートークの会は、毎回約2時間程でご参加の皆様自由に質問または発言して頂き、院長、副院長がそれにお答えしております。このコーナーには紙面の関係上、抜粋して掲載しています。